



平成30年度「札幌市民族教育に関する研修会」

実践発表

札幌市立定山溪中学校

佐久間 勇史

# 発表項目

- ① 札幌市アイヌ文化交流センターによる中学校  
体験プログラム事業の活用に関する実践研究
- ② 新聞記事・副読本を活用した  
アイヌ民族に関する学習
- ③ 校区内の小学校との連携

# ①札幌市アイヌ文化交流センターによる 中学校体験プログラム事業の活用に関する実践研究



# 小中高生団体体験プログラム提供事業

## 毎年1月下旬に各学校に連絡 (4月末に締切)

1	体験内容	別紙のとおり。
2	実施場所	札幌市アイヌ文化交流センター（南区小金湯 27 番地） （出前体験プログラムは、各学校の希望場所）
3	実施期間	平成30年6月～平成31年3月まで 休館日：月曜、祝日、年末年始（12/29～1/3）毎月最終火曜日
4	実施校数	75校（札幌市アイヌ文化交流センターにて実施） 40校（出前体験プログラム：各学校の希望場所にて実施）
5	参加料	無料 ただし、上記※の場合を除き、当センターへの交通費は学校負担です。
6	申込方法	同封の申込書に必要事項をご記入のうえ、庁内メール又はFAXにてお申してください。なお、参加決定は、 <b>先着順</b> とし、予定数に達しましたら受付を終了とさせていただきます。
7	申込期限	平成30年4月30日（月）
8	申込先	札幌市アイヌ文化交流センター 担当：
9	その他	体験プログラムの内容・実施時間等については、ご希望にあわせて調整できますので、ご連絡いただきますようお願いいたします。

### 平成30年度 小・中・高校体験プログラム事業

#### 【 内 容 】

講話、歌舞、楽器等の公演と体験交流、館内外の解説  
（目安時間：約2時間程度）

プログラム内容	所要時間	詳細
講話・歌舞・楽器等の公演 	20分～30分	◆アイヌ民族の歴史を簡単に説明してもらいます。 ◆アイヌ民族伝統古式舞踊・歌・楽器を見学し、アイヌ民族の伝統文化を学んでもらいます。 ①ウポボ（座り歌）の公演 ②リムセ（アイヌ民族伝統古式舞踊）の公演 ③楽器の演奏
アイヌ古式舞踊交流体験 	10分	◆アイヌ伝統古式舞踊と一緒に踊ります。 アイヌ民族の方々との触れ合いを通して、アイヌ民族の伝統文化をより深く実感でき、心に残る交流ができます。 ※体験内容は担当する団体によって内容が異なります。
交流体験（どちらか選択） A・子ども遊び  B・切り絵 	30～40分	◆アイヌ民族の子供たちが行っていた遊びを体験し、アイヌ文化を学ぶことができます。アイヌの子供たちは、大人になり生きる為に必要な技術や知恵を遊びながら知らず知らずのうちに身に付け自然と共に生きる知恵を学びました。
	40分	◆アイヌ文様についての解説、折り紙にアイヌ文様を描き、切り絵にし、色々な文様を感じ、アイヌ民族の伝統文化に触れてもらいます。 *但し：道具と材料の用意をお願いいたします。 (各自、筆記用具、ハサミ1本、のり1個、折り紙3枚と台紙1枚を持参していただきます。お忘れの場合は、実施できなくなりますので、ご注意ください。)
館内外の説明  歴史の里・自然の里 	15分～30分	◆館内の展示室には、民具や衣類など約300点が展示されており、直接展示物に触れていただく事ができます。
	15分～30分	◆館外には、昔のコタン（村）を再現した自然の里・歴史の里があります。そこにはチセ（家）、イユタブ（精米機）、アイヌ民族ゆかりの植物を植栽しており、アイヌ民族の暮らしや自然観などを学べます。 ※自然の里の解説期間は、6月～11月頃までとなります。
質問コーナーと自由見学	30分	◆最後に、この体験交流を振り返り、生徒がそれぞれに感じた事をもとに、自由に見学し、自由に学んでもらいます。 ◆ご質問にはアイヌ民族の方が直接お答えいたします。 (施設内には、アイヌ民族の歴史や文化などが楽しんで学べる機器などがあります。)

# 昨年のプログラム～1時間35分の内容

## 札幌市立定山溪中学校

日 時： 2017年7月20日(木) 9:35～11:10(1h35m)  
人 数： 生徒数 6人 (1クラス) ・ 教員数 1人 ・ 合計 7人  
担当団体： アンコラチメノコウタラ

### 《タイムスケジュール表》

時 間	所要時間	内 容	場 所
9:35～9:55	20分	講話・歌舞・楽器等の公演	交流ホール
9:55～10:05	10分	アイヌ古式舞踊の体験	
10:05～10:35	30分	体験交流(切り絵)	
10:35～11:10	35分	館内・館外の解説	展示室・歴史の里

※以上タイムスケジュールです。要望、変更などありましたらご連絡ください。

※切り絵の時には、各自：鉛筆、消しゴム、ハサミ1本、折り紙3枚以上、

台紙、のりをご持参ください。



アイヌ古式舞踊体験



## 体験交流(切り絵)

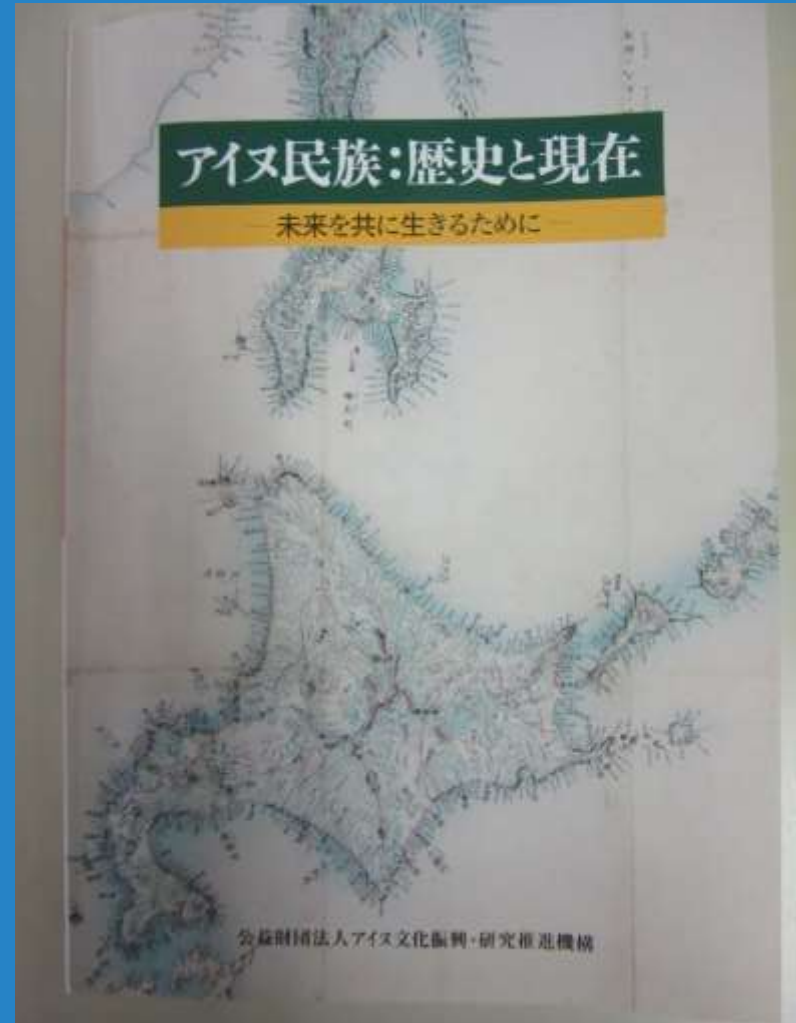


## 館内・館外の見学



## ②新聞記事・副読本を活用した

# アイヌ民族に関する学習



### 学習活動

・新聞記事  
を読む

・要旨を  
つかむ

・感想

(・意見交流)

進まぬ理解 苦難再び

「アイヌに誇り」

第4部 差別のいまを考える



アイヌ民族の歴史や文化について、多くの人々がまだ理解しきれていない。その結果、差別や偏見を生み出すことにもつながっている。本記事では、アイヌ民族の現状や将来について、関係者の声を交えて紹介する。

アイヌ民族の歴史や文化について、多くの人々がまだ理解しきれていない。その結果、差別や偏見を生み出すことにもつながっている。本記事では、アイヌ民族の現状や将来について、関係者の声を交えて紹介する。

結婚に反対 母の真意

「アイヌの誰も堂々と生きられる社会に」

第4部 差別のいまを考える



結婚に反対する母の真意。アイヌ民族の歴史や文化について、多くの人々がまだ理解しきれていない。その結果、差別や偏見を生み出すことにもつながっている。本記事では、アイヌ民族の現状や将来について、関係者の声を交えて紹介する。

結婚に反対する母の真意。アイヌ民族の歴史や文化について、多くの人々がまだ理解しきれていない。その結果、差別や偏見を生み出すことにもつながっている。本記事では、アイヌ民族の現状や将来について、関係者の声を交えて紹介する。

伝えたいから踊る

「アイヌの誰も堂々と生きられる社会に」

第4部 差別のいまを考える



アイヌ民族の歴史や文化について、多くの人々がまだ理解しきれていない。その結果、差別や偏見を生み出すことにもつながっている。本記事では、アイヌ民族の現状や将来について、関係者の声を交えて紹介する。

アイヌ民族の歴史や文化について、多くの人々がまだ理解しきれていない。その結果、差別や偏見を生み出すことにもつながっている。本記事では、アイヌ民族の現状や将来について、関係者の声を交えて紹介する。

## ③校区内の小学校との連携

定山溪小学校での取組を知る

- ①札幌市社会科副読本「わたしたちの札幌」の活用
- ②DVD鑑賞：オルシペスウォプ2・3（アイヌのお話アニメ）
- ③3年生、4年生現地学習　ピリカコタン
  - ・歌舞・楽器等の講演
  - ・アイヌ古式舞踊の体験
  - ・体験交流（子ども遊び）
  - ・館内・館外の見学

教育課程上で連続させることが大切  
→9年間を見通したカリキュラム（タテ）  
教科横断的な視点（ヨコ）  
※まずは既存のものを小学校と交流  
☆今後のカリキュラム・マネジメントの一環で...

## 成果

- 生徒の感想文から、体験を通してアイヌ文化を尊重する態度が身に付いたと考えられる。
- アイヌ民族に興味をもち、学校図書館を利用して関連する本を読む生徒もいた。
- 社会科公民的分野における「人権と共生社会」について、意欲をもって授業に取り組んでいた。

## 課題

・生徒たちは、札幌市アイヌ文化交流センターにおいて、小学校4年生時にも体験を行っている。小学校の体験を中学校につなげる取組にしていくことで深い学びも実現させたい。そのためにも小学校との連携をさらに強めていく必要がある。

☆既習事項の掘り起こしや積み上げ